

水産

「山形のおいしい魚を届けたい」生産者の想いに応えます

現在の担当業務は

サケの人工ふ化放流事業の技術指導や庄内浜産ブランド魚介類のPR等の業務を担当しています。私自身、まだ入庁して2年目ですが、実際に現場に赴く機会が多く、何度も訪れるうちに業務の中で関わる方々に顔や名前を覚えていただき、より円滑にコミュニケーションをとることができるようになりました。そのおかげもあり、自分が行った仕事に対するフィードバックを現場から直接得ることができ、日々やりがいを感じて業務に当たることができています。



庄内浜魚まつりでのPR

職場の雰囲気は

基本的に自分のペースで仕事を進めることができるため、働きやすい環境だと思います。また、水産職の職員同士で業務に当たることが多く、配属先や先輩・後輩に関わらず仕事以外のことも気兼ねなく話すことができ、アットホームな雰囲気があります。

ワーク・ライフ・バランスは

休暇に関しては、時期に関わらずフレキシブルに取得できるため、仕事中心の生活になることはなく、プライベートの予定を優先しながら働くことができます。そのため、社会人になって都合が付きにくい友人にも、相手のスケジュールに合わせて旅行の計画を立てることができるなど、様々なメリットがあると思います。

県職員に興味がある方へメッセージを

私は県内出身ではありませんが、「水産職の地方公務員になりたい!」という思いから、縁があって山形県の職員として働いています。特に水産職の仕事は県内だけの仕事に留まらず、県外に足を延ばして行う業務もあり、水産に関わる様々な立場の方々と関わりを持つことができるため非常に魅力的な職業だと思います。



サケ稚魚の検査



千葉 春輝
庄内総合支庁産業経済部
水産振興課
(令和6年度採用)

ある1日の流れ



8:30

業務開始、メールや新聞のチェック

9:00

サケの採捕場・ふ化場へ車で移動、ふ化事業者へ技術指導を行う

12:00

休憩（出張中はラーメン屋さんでランチ）

15:00

事務所に戻り、報告書をまとめる

16:00

庄内浜のブランドキャンペーンに関する広報の原稿をまとめる

17:15

業務終了